

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	集合住宅遮音設計指針刊行小委員会	主 査 名：田端 淳 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：村上 公哉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の作成・刊行 (集合住宅遮音性能規準刊行小委員会と合同で実施)	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：田端淳 (大成建設) 幹事：渡辺充敏 (大林組), 峯村敦雄 (鹿島) 委員：岡野利行 (竹中工務店), 河原塚透 (大成建設), 嶋田泰 (三井住友建設), 中川清 (音工学研究所), 濱田幸雄 (日本大学工学部), 平松友孝 (音環境研究所), 宮島徹 (清水建設), 村石喜一 (音環境研究所), 吉村純一 (小林理学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	(なし)	
2015 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方 (集合住宅遮音性能規準刊行小委員会と合同で執筆)	
講習会	1. 講習会「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」 ・集合住宅遮音性能規準刊行小委員会と合同	参加者数 184 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. (なし)	参加者数 名
大会研究集会	1. (なし)	参加者数 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. (なし)	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 計画通り, 出版物を刊行し講習会を開催した. 2. 3.	
委員会活動の問題点 ・課題	1. 問題なし 2. 3.	

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	・本年度の目標「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の作成・刊行は計画通り、達成できた。 ・本小委員会は、2012 年度に設置された「集合住宅遮音設計刊行小委員会」からつながるものである。同時に設置された「集合住宅遮音性能規準刊行小委員会」とともに、AIJES 策定を目指していたが、2013 年度にパブリックコメント実施後、学会員より意見書、要望書が提出されたことを受け、AIJES としての出版ではなく、AIJES の範疇外となる一般書籍として刊行し、提案する性能評価法等の周知、提案方法に基づくデータ収集・蓄積を図ってから AIJES として刊行することになった。 ・本小委員会は、本年度で廃止となるが、今後、本小委員会で刊行した出版物で提案した性能評価法等を学会内で広く周知するとともに、データ収集を進め、あらためて AIJES 刊行を目指す。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。